

C-1 指導案

| 段階   | 配時 | 学習活動と予想される生徒の反応 (○)  | 支援 (・) と評価 (◎)  |
|------|----|--|---|
| つかむ  | 10 | 1 方位磁針を使って、学校周辺の建造物の方位を調べる。<br>○警察署は北の方位にあるぞ。<br>2 地球（儀）上で日本から見た各国の方位を考える。<br>○中国は日本の西の方角にある。                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>方位磁石の正しい使い方を確認する。</li> <li>夜、方位磁石の代わりになる北極星の存在を知らせる。</li> </ul>  |
| 追究する | 10 | 3 北極の真上から見た方位を考える。(Q1.)<br>4 「地球は自転している」ことを確認する。<br>○電車などで移動すると、他の電車や景色が移動して見える。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>この質問の図の方位を地球儀上に重ねて考え、立体的にイメージできるようにしたい。</li> <li>地球の自転によって、太陽や星が動いているように見えることを伝える。</li> <li>自転の向きにはふれない。</li> </ul>  |
|      | 10 | 5 本時の課題を確認する。(Q2.)<br>6 自分の考えを書く。<br>○「B」にいと、太陽が全く見えないからちがう。<br>○「A」にいと、太陽の光は強そうだから、日の出・日の入りではない。                          | <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">日の出・日の入りが見られるのは日本がどの位置にあるときでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 方位が理解できていて、太陽が東から昇り西にしずむことを図とあわせて立体的に考えている。(ワークシート、科学的思考)</li> <li>《C→Bへの支援》<br/>方位シールを配り、地球儀に貼って太陽がある方位を考えるように促す。</li> <li>《B→Aへの支援》<br/>それぞれの地点での方位、太陽がある方位を考慮し、筋道を立てて考えが書けるよう促す。</li> </ul> |
|      | 15 | 7 班で話し合い、考えを発表する。【思考力】<br>○「C」が朝で、「D」が夕方だ。<br>○日の出は太陽が東からのぼる。日の入りは西に見えるときだから各点の方位を考えればいい。<br>8 他班の発表を聞いた感想や、自分の考えの変化を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>考えの根拠も発表するように促す。</li> <li>あわせて、地球の自転の向きを押さえる。</li> </ul>   |
| まとめる | 5  | 9 太陽系シュミレーターで確認する。<br>10 次時の予告を聞く。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>地球の自転と、それにより昼と夜がやってくることを映像で確認する。</li> </ul>  |